

特色のある授業 里山と生物で麦の脱穀を行いました。

5月29日(月)から6月2日(金)の「里山と生物」及び「園芸とガーデニングA・B」の授業において大麦の脱穀を行いました。

大麦は昨年の秋、本校の畑に種を蒔き、今年5月中旬まで育てたものを収穫し、試食するためにこの時期脱穀しました。

大麦の種は、深さ3センチから5センチくらいのところに蒔きますが、これは「寒さへの対策」「水を吸い上げられる深さ」を注意し、しっかりと芽が出るための深さを考慮してのことです。

生徒たちは収穫できるまで、適度に散水し、鳥に食べられないよう網をかけたりして、成長を見守りました。

今回の脱穀は、昔ながらの「足踏み脱穀機」を使用し、「とうみ」を使用して実をより分けます。

収穫した大麦はお米と一緒に炊いて試食しますが、ビタミンやミネラルの補給となります。その他焙煎して自家製麦茶作りも行い、生徒たちは「美容と健康のための健康食品」を意識し、今後の健康管理と維持に役立てることと思います。

